

八中3年人権だより

徳島市 八万中学校
3年生 第2号
2024年 5月 8日
編集・文 吉成正士

皆さん、GWはどのように過ごしていましたか？どこか出かけましたか？部活動で忙しかったですか？テストを控えてお家でおとなしくしていましたか？

先月4月26日総合の時間に、1年のうったてとして、学年全体人権学習を行いました。資料は、詩「峠」(真壁 仁)でした。これまでのふりかえりや、これからの動きを確認し合いながら、今、それぞれに感じる「峠」について語り合いました。それがすごかった。

私からの問いは、次の2つでした。

1. あなたはこの詩のどの言葉に惹かれますか。それはどうしてでしょうか。

例えば、「訣別、ひとつをうしなう、大きな喪失、わかれ」…あなたがこれまで経験した、またはこれから経験する「別れ」について語ってください。

例えば、「明るい憂愁、すぎ来しみち、ひとつの世界、見えるかぎりの風景」…あなたの失敗や成功、悲しみや喜びなどの、「思い出」について語ってください。

例えば、「別個の風景、あたらしい世界、ひらけくるみち、行手」…あなたが思い描く「夢」について語ってください。

2. いよいよ中学生活最後の学年となりました。このような学習ができるのもあとわずかです。今のあなたにとって、「峠」とはなんでしょうか。あなたにとって、このような「人権学習」の時間にはどんな意味がありましたか。自由に語り合みましょう。

今回も、皆さんの感想を中心に、人権だよりにまとめてみました。どうぞ読んでみてください。

「やる気スイッチ」はここにある

■今回の人権学習では、今までの人権学習とは違う雰囲気でした。今までもみんな真剣に取り組んでいたけど、今回は人権を学ぶ楽しさがみんなのなかにあった気がします。人権を学んでいくことで、友達との仲が深まったり、自分以外の意見をたくさん聞いて、「そういう思いがあるんだ」と考えることが多くなりました。意見を聞いて、今の峠は受験と答える人がとても多かったです。僕もそう思うし、みんなもそう思っていると思います。今年は今までと違っていろいろなことを頑張っていきたいし、つらいこともあるだろうけど、この峠を乗り越えれば、自分を少しでも安心させられることができる気がします。3年目の人権学習は、今までの経験をしっかり考えながら、人権について深く語っていきなさいと思います。もっともっと成長できるように、いろんなことも頑張っていきたいです。

5組OR

△ ▼ △ ▼ △ ▼ △

■今回の全体人権学習は、1番深く考えられたと思います。今までの全体人権学習も、もちろんたくさん考えてい

たけど、3年生で受験生ということもあり、みんなも受験についてよく考えたんだなと思いました。峠についての話で、受験、テスト、自分自身、人生の分岐点と、たくさんの意見が出ていました。私はどこを受験するか、進路はだいたい決めているけど、まだあまり力を入れて勉強していないし、努力をしていないと思います。今回の話し合いで、「努力したら報われるのか」が、何回か話題に出たけど、ここでアニメの名言を一つ入れさせていただきます。「努力したものが必ず報われるとは限らん。しかし、成功したものはみな、少なからず努力をしている」←(フワツトしか覚えてないので、調べてみてください)です。もう受験生で、嫌でも勉強をしなければいけないときだけど、受験に合格するために、合格できる！ってくらいの努力をしていきたいと思いました。明日からします。

1組NH

「今日から」ではないのですね(笑)。

ずっと昔はなかなか信じられなかったのですが、今は確信をもって信じているのが、「人権学習をしていけば、学力は上がる」です。

どうすれば勉強をするようになるのか。よく話題にも出るし、訊かれることもあります。「人権学習をすればいいのに」と、いつも思います。人権学習の中身は、よくよく吟味しないといけないのかもしれませんが、知識を入れることも大事でしょう。でもそれだけではなく、みんなの中に持っていることをそれぞれが出し合う、みんな語り合う人権学習をすることです。そうやって他者の意見や考えにふれたり、自分もそれに応えて語ったり。そのやり取りを聴くだけでも構いません。そうしていくと、自ずと「やる気スイッチ」が入るのです。あれだけ「勉強しろ」と言われてもしなかったのが、自分から進んでやるようになるのです。大切で必要なのは、この主体性です。



皆さんには1年生の時からずっと、人権学習を通じて、「学び続けることを学ぶ」ことの大切さを伝えてきました。それがすでに身につけている人は、ごくごく普通に努力していると思います。特別なことをする必要はありません。特別なことになってしまえば、受験

のあと、その反動でやらなくなりますから。ずっと伝えてきたのはそういうことではなく、日々できる小さな努力の積み重ねです。急激な変化は歪みをもたらします。「それでは間に合わない」という人もいます。でも、少なくともそれをしていかないことには、大きな前進もあり得ないのですから。

なくした命が教えてくれたこと

■どの言葉に惹かれたか？の発表で、「別れ」に惹かれた人が多かったと感じました。確かに人生でつらいことはいろいろあると思いますが、別れは本当につらいと思います。別れたあとに後悔することもたくさんあると思います。実際僕も、昨年おじいちゃんが亡くなって、いっぱいしかったことや、させてあげたかったことがあります。人間や動物にはいつか死は絶対に訪れます。だから生きているうちに、楽しいことをいっぱいすることが大事だと思いました。

2個目の峠の発表では、山を上り下りすることと、人生がつながっていることが分かりました。人生には楽しい時、つらい時、いろいろありますが、いつかゴールがあるので、諦めずに頑張りたいと思いました。 5組KO

△ ▼ △ ▼ △ ▼ △

■私は今回の人権学習で、身近な人との時間をもっと大切にしていきたいと思いました。中1のとき、大好きな祖父が亡くなって、とてもつらい思いをしました。祖父はいつでも優しくしてくれて、たくさんの人から頼りにされていて、自慢の祖父でした。大好きだったからこそ、とてもつらかったです。また、私よりも長い時間一緒にいた祖母や母を見ると、とても苦しかったです。大切な人との時間や別れは、本当に一瞬でした。もっと一緒にいたかった、いろいろなところに一緒に行きたかった、などたくさん思うことがあります。大切な人との時間はとても貴重で、大切なものなんだと改めて思うことができました。私は今回の人権学習で、身近な人、大切な人との時間を、今まで以上に大切にしていこうと思いました。祖父のように、誰からも頼りにされて、どんなことにも一生懸命取り組める人になりたいです。 5組KR

今回たくさんの方が、身近な人との別れについて語ってくれました。それを聞いて、自分事に置き換えて考えられたのかなと思います。でも、こんなふうに思えたのは、お祖父さんのおかげではないでしょうか。お祖父さんが最後に身をもって教えてくれたことできなかったかと思うのです。あなたがそう努める以上、あ



なたのなかにお祖父さんは生き続けていくのではないのでしょうか。そうやって、人は「命のバトン」をつないでいくのだと思います。次は、渡されたバトンを、あなたがどうするかです。

たとえ結果が出なくても！

■今日、3年生になって初めての人権学習をして、また一つ新しい考えを知ることができました。そのなかでも私は、「報われない努力もある。だけど報われないからといって努力をしないのは違う」という発表が印象に残りました。私はよく、「努力は必ず報われる」という言葉を聞きます。だからこそ今日、むしろ報われない努力の方があと聞いたときに、なら努力をする意味があるのかと考えてしまう自分がいました。でも叶えたい夢や目標に向かって「努力ができる」というのは、本当にすごいことで、結果が出なくても、何か大切なものを得られる気がします。だから私は、残りの部活やこれからの進路など、何事も努力を続けられる人でありたいと思いました。2組FM

そうですね。期待していた結果は得られなくても、何か大切なものは得られるのかもしれませんが。

昔、体育祭で優勝をめざして頑張っていたときのことです。頑張ること自体は大切な思いでしたが、そのもとの、誰もが引き受けたがらない役を自ら引き受けた女の子がいました。全員リレーの第一走者です。周りはサッカー部や陸上部の男子ばかりでした。スタート直後、競り合いに堪えきれず、コーナーで激しく転倒してしまいます。起き上がり走り出しはしたものの、ダントツの最下位となってしまいました。膝からは血が噴き出していました。バトンを手渡した後、「ごめんよ、ごめんよ」と、号泣しながら医務室に運ばれていきます。その光景を、遠くから、近くから、クラスメイトは見つめていました。

「さあ、自分はどうする？」

それが全員に問われたのです。誰かに問われたわけではありません。自らが自らに問うたのです。

バトンを渡された子は全力で走りだします。その後、運動が苦手な子も、いつもはチャラチャラしてる子も、学校にあまり来れていなかった子も、全力です。5位との差を縮め、やがて追い抜きます。みんなが大声をばりあげて応援していました。4位にも追いつき、追い越します。それはもう、自分への声援のようでした。3位も抜いて、一時は2位にまで浮上しました。みんな大歓声でした。最後は4位でフィニッシュしましたが、その結果に誰が不満をもったでしょう。みんなが最高に爽やかな笑顔でした。

「勝ち負けだけがすべてじゃない」

心の底からそう思わせてくれた体育祭になりました。一生の記憶に残る体育祭でした。バトンを通して、「思い」が伝わったのだと思います。人を突き動かすのは、この「思い」であってほしいなと思います。結果は結果で尊いものです。でも、それだけではない「大切なもの」もあるのだと思います。できることならそんな思いを、みんなにも味わってほしいなと思います。

(第3号につづく)